

## 南山城支部少年野球連盟（大会特別規則と注意事項）

### 春季大会

1. ベンチは組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。ベンチには登録されている〔代表者：監督：29番28番コーチ：スコアラー：トレーナー（有資格者）〕6名が入る事ができます。選手：監督は同一の衣装ユニフォーム：アンダーストッキング：アンダーシャツ、スパイクは同一のものでなくとも可としますが、なるべくならば色は合わせてください。尚、Cの部はマジックテープ仕様は黙認しますが、A・Bの部は紐仕様でおねがいします。）背番号を付ける事。なお背番号は選手0～99番、監督は30番とする。監督不在の時はコーチが監督代行してもかまいませんが、必ずユニフォームを着用し、（28番：29番の登録済みコーチ）とし球審に試合前、代理監督を申し出る事。スコアラーもチームの帽子を着用の事。
  2. 小雨の場合でも日程の都合上、球場が使用可能な状態の場合は試合を強行する。
  3. 試合開始予定時間前でも前の試合が早く終了した場合は、直ちに次の試合を開始する。
  4. 試合開始予定時間前30分前になって、球場に会場出来ないチームは連盟まで電話連絡して下さい。（9名選手が揃っていない時など）必ず、連盟の役員まで連絡を入れて下さい。
  5. 選手の変更ならびに追加、背番号の移動の件。（登録表提出後から予選リーグの間は、選手追加認めますが決勝トーナメントに入れば、認める事は出来ません。大会終了まで、）
  6. 暗黒：降雨などにより試合を中止した場合には、時間50分経過又は4回終了しておれば試合は成立として終了、それ以外は後日、再試合（初回より）とする。
  7. Cの部春季大会は70分（5回戦）。5回終了して勝敗が決しない時は、引き分けとする。特別ルールにて1イニング7点にて攻守交替とします。投手間14m・塁間21mで行う。決勝トーナメントではCの部、ポークの採用をします。各部共、イニング制限があります。A・Bの部は1日70球、Cの部は60球とし試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。延長戦又はタイブレーク【特別延長戦】になった場合、1日規定投球数以内で投球できる。なお、3回15点差：4回10点差：5回7点差がある場合はコールドゲームを採用する。（但しCの部は採用しない）
  8. 試合時間は80分として新しいイニングに入らない。
    - (1) 支部大会は、予選リーグより「タイブレーク」にて、試合の決着を付けて頂きます。
    - (2) 準決勝戦及び決勝戦は、7回もしくは規定時間を経過し同点の時は最大限2回まで延長戦を行いなおかつ、同点の時。
    - (3) タイブレークは2回を最大延長回とし、それでも同点の時は最終出場選手9名の抽選にて決着する。
- 特別延長戦「タイブレーク」について  
1 死満塁とし継続打順で行う。  
前イニングの最終打者を一塁走者とし、二：三塁走者は順次前の打者を走者として行う。  
決着するまで繰り返し行う。（最大限2回まで、それでも決着の付かない時は抽選です）
9. 抗議のできる者は、監督：当該選手とする。「但し審判員の裁定が規則の適用を誤って下された疑いがあった時のみ。8.02(b)」 審判員に対して必要以上の抗議は1分以内として、それ以上、審判員の判定に従わない時は試合放棄とみなす。
  10. 打者が頭部ヘッドボールを受けた場合監督の要請があれば、臨時代走を送ることが出来る。（代走はその打者の前の打者とする。但し投手・捕手を除く）
  11. その他、競技規則は全日本軟式野球連盟規則を適用する。
  12. スポーツ障害保険に必ず加入する事。
  13. 大会に対して不正を行ったチームに対しては次の処置を行う。
    - (1) 出場資格に不正のあった場合
      - a 試合開始前は嚴重注意、試合中に発見された時は、いかなる理由でも相手チームに勝利を与える。
      - b 試合終了後発見された時は相手チームに勝利を与える
      - c 決勝戦終了後に発見された場合は、準優勝チームの勝利とする
    - (2) 試合終了後、大会本部：試合中に審判に暴言を吐いて帰ったチームに対しては、代表者に嚴重に 注意すると共に当連盟の大会出場を遠慮して頂きます。

### 南京都少年野球連盟の大会はグラウンド特別規則（ボールデッドラインの採用について）

1. 危険防止の為ボールデッドラインを採用する。ファールボールをボールデッドライン内で捕球した時はアウト。捕球後ボールデッドラインを越えると危険防止の為、捕球とは認めない。
2. 支部大会は、予選リーグよりタイブレークの採用（方法は7番参照）